

要配慮者利用施設の 避難確保計画の作成について

①学習編

（計画の必要性・水害リスク・避難行動のタイミングと役割分担）

令和8年 東松山市





■ 要配慮者利用施設の「避難確保計画」とは

- 避難確保計画とは、施設周辺が大雨などで浸水するおそれがある場合、避難経路や避難先、避難行動の役割分担などをあらかじめ決めておくことで、いざという時に、要配慮者利用施設利用者の安全を確保するための計画です。

■ 避難確保計画の作成手順について

- この資料は、計画をつくる前に知っておいていただきたいことや、実際の計画のつくりかたについて解説します。

①学習編：

計画作成の必要性や東松山市の水害リスク、避難行動のタイミングと役割分担について解説します。

②作成編（別冊）：

実際に、避難確保計画の作成方法について解説します。



洪水

における洪水時の避難確保計画
（所在地：東松山市 _____）
年 月

目次

編	No.	内容	ページ
①学習編	ステップ1	避難確保計画作成の必要性	P.3～
	ステップ2	東松山市の水害リスク	P.8～
	ステップ3	避難行動のタイミングと役割分担	P.19～
②作成編 (別冊)	ステップ4	避難確保計画作成方法	P.3～ (別冊)
	ステップ5	計画の提出について	P.20～ (別冊)

本資料は1冊です

【ステップ1】

避難確保計画作成の必要性

1. 風水害による被害の頻発

- 近年、大型台風の発生や集中豪雨等により、多くの風水害被害が全国各地で発生している状況が続いています。

岡山県倉敷市 小田川 (H30年7月豪雨(西日本豪雨))



愛媛県大洲市 肱川 (H30年7月豪雨(西日本豪雨))

大分県日田市小野地区 斜面崩壊 (H29年7月九州北部豪雨)



茨城県常総市 鬼怒川破堤 (H27年9月関東・東北豪雨)

1. 風水害による被害の頻発

■ 要配慮者利用施設でも、被害が発生しています。

- 平成21年の中国・九州北部豪雨では、山口県防府（ほうふ）市で土砂災害警戒区域内の特別養護老人ホームが被災しました。
- 平成28年の台風10号では、岩手県岩泉町で洪水により小本川が氾濫し、高齢者グループホームが被災しました。



図 H21年7月中国・九州北部豪雨
山口県防府市 死者7名(災害時要配慮者)



図 H28年8月 台風10号
岩手県岩泉町 死者9名(入居者)

2. 避難確保計画作成の義務化

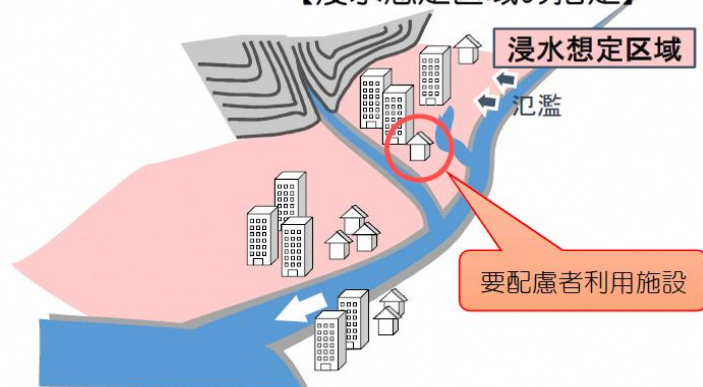
■ 要配慮者利用施設の「避難確保計画作成」と「避難訓練」が義務化されました！

- 水防法及び土砂災害防止法の改正(H29.6)により、洪水浸水想定区域内や土砂災害(特別)警戒区域内で、自治体の地域防災計画で定められた要配慮者利用施設について、避難確保計画作成・訓練の実施が義務化されました。
- 計画を作成しない場合には、市町村長からの指示、それに従わない場合にはその旨が公表される場合があります。
- 令和7年9月30日時点で、要配慮者利用施設は133,514施設、うち計画作成済みは117,544施設（約88%）です。

ポイント！

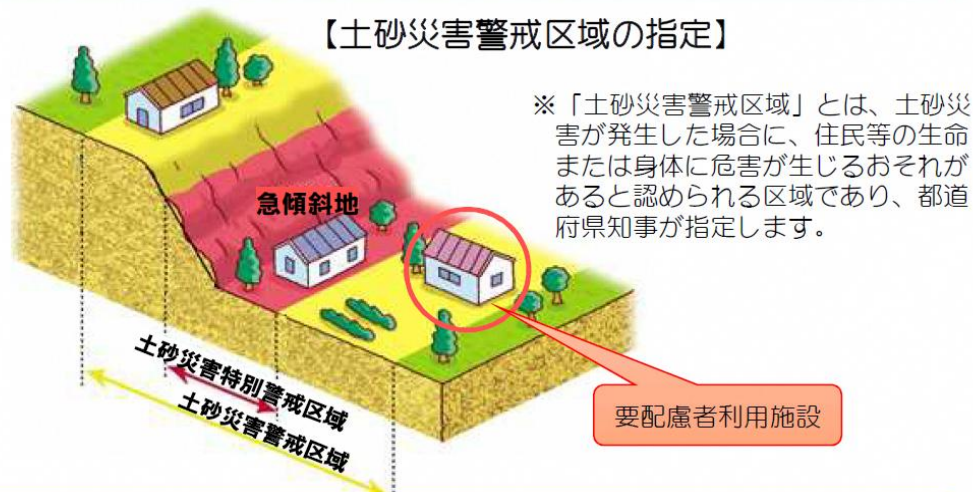
浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設※の管理者等は、**避難確保計画**の作成・**避難訓練**の実施が**義務**となりました。 ※ 市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象です。

【浸水想定区域の指定】



※「洪水浸水想定区域」とは、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域であり、河川等管理者である国または都道府県が指定します。

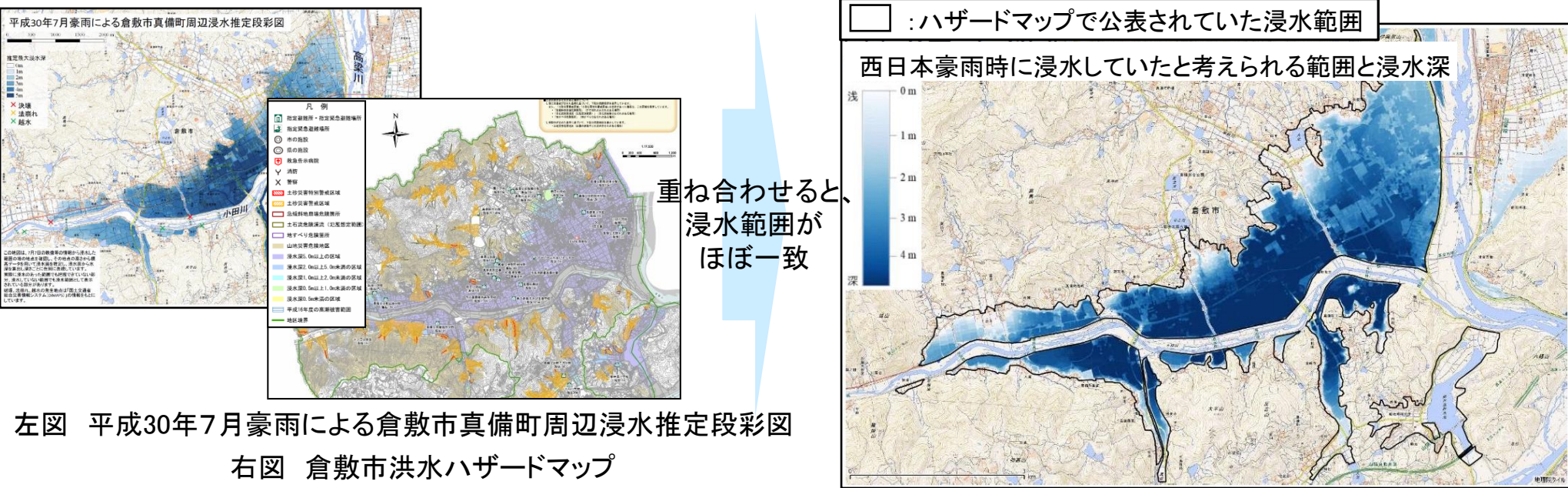
【土砂災害警戒区域の指定】



※「土砂災害警戒区域」とは、土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、都道府県知事が指定します。

3. 避難確保計画の作成と訓練の必要性

- 水害リスクを「知っている」だけでは、実際の避難行動に繋がらないことが課題
- ・ H30年7月豪雨（西日本豪雨）による高梁川水系小田川の氾濫の際、真備町では50名の方が亡くなり、亡くなられた方のおよそ9割が、自宅で被害に遭ったとされています。
- ・ 一方、倉敷市では、氾濫発生前の平成29年2月に、洪水ハザードマップを市内全戸に配布していて、西日本豪雨で浸水した範囲とハザードマップの範囲は、ほぼ一致する結果となりました。



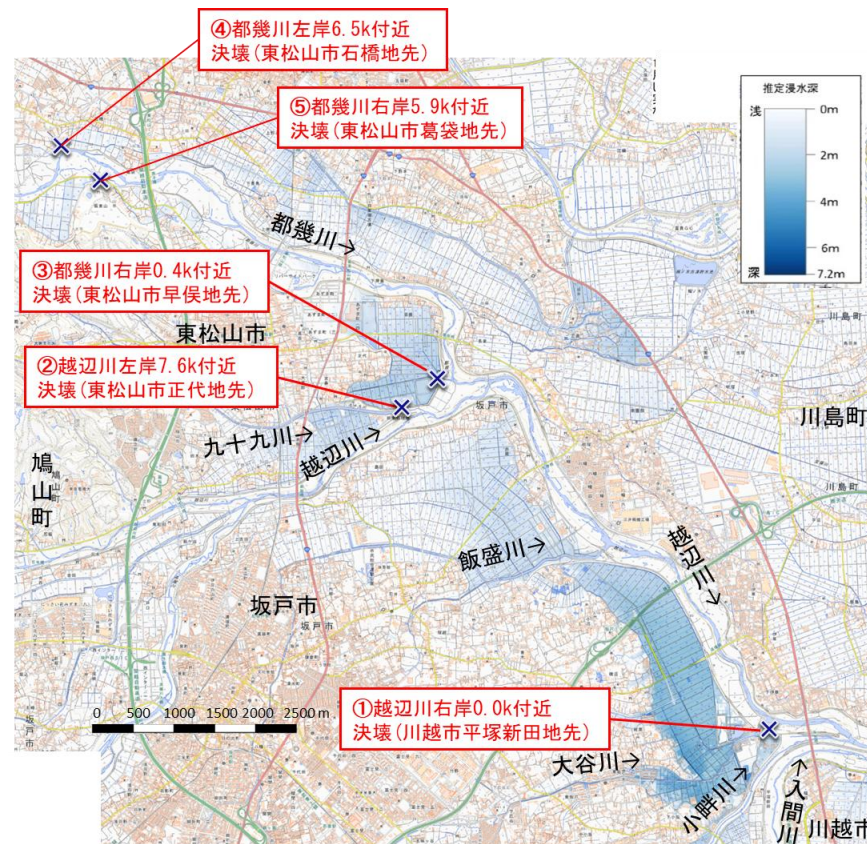
- 避難確保計画を作成し、「いざという時について考えてみる」、「具体的にイメージする」ことが必要です。
- さらに作成した計画をもとに、災害に備える取組（避難訓練等）を継続する事が大切です。

【ステップ2】

東松山市の水害リスク

1. 東松山市における水害の履歴

- 東松山市では、台風や大雨の際に都幾川、越辺川、市野川などが氾濫する可能性があります。
- 令和元年10月の台風第19号では、越辺川、都幾川沿いで堤防が決壊し、浸水被害が発生しました。



※令和元年台風19号に伴う大雨による浸水推定段彩図(都幾川1)【暫定】<速報>
10月14日16時作成10月18日一部修正(国土地理院)
(https://www.1.gsi.go.jp/geowww/201910/shinsui/09_shinsui_toki_1.pdf)を加工して作成

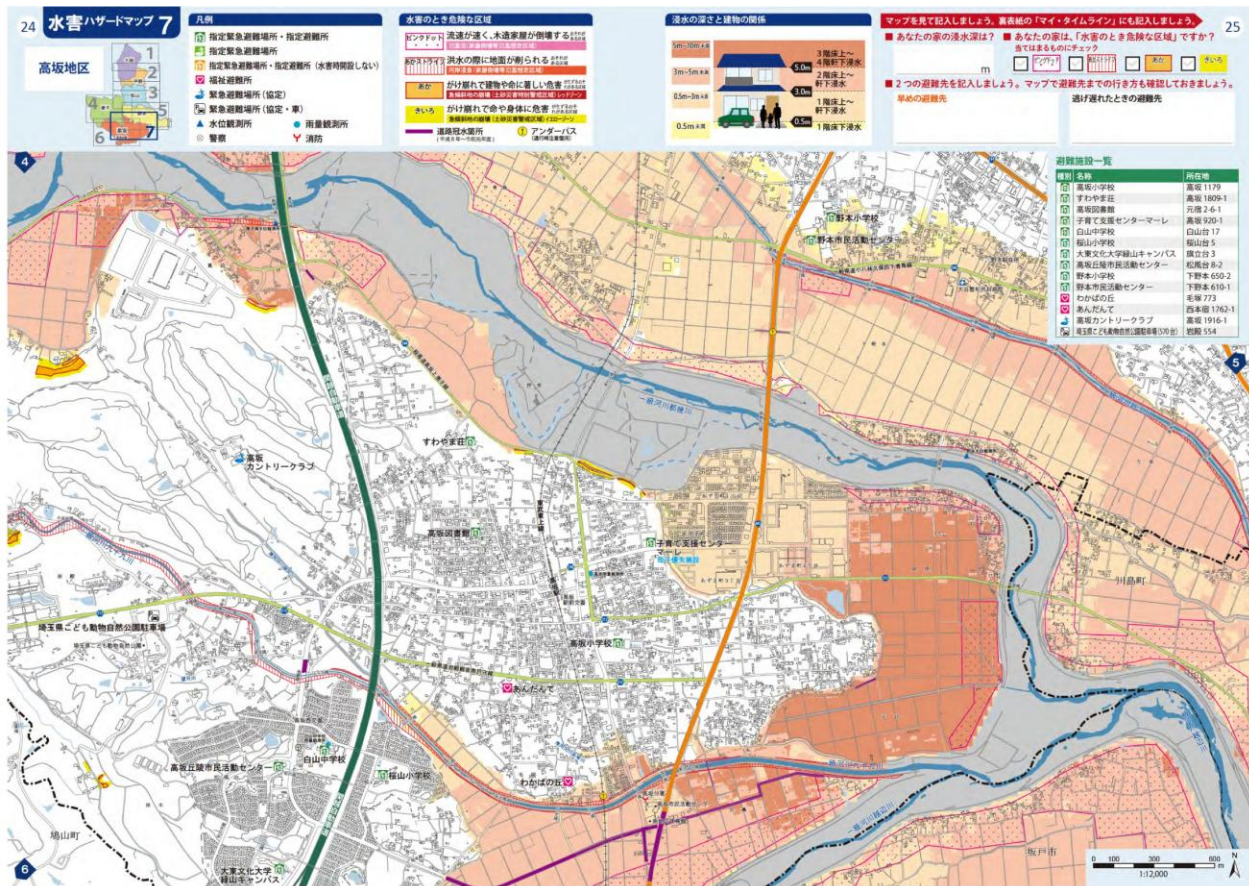


出典: 国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

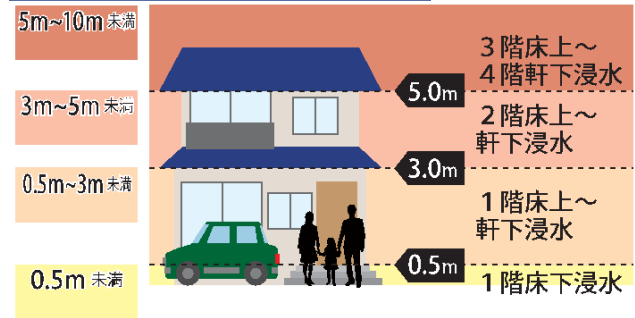
2. 洪水時に想定される浸水範囲・浸水深・家屋倒壊等

■ もし河川が氾濫したら・・・

- 都幾川、越辺川、市野川沿いの広い範囲で浸水し、場所によっては最大約5.0m以上浸水する可能性もあります。東松山市水害ハザードマップにより施設の周りの浸水深を確認してみましょう！
- 特に、都幾川や越辺川沿いで、家屋が倒壊・流失する等の危険性があります。



浸水の深さと建物の関係



水害のとき危険な区域

- ピンクドット** 流速が速く、木造家屋が倒壊する
氾濫流(家屋倒壊等氾濫想定区域)
- あかストライプ** 洪水の際に地面が削られる
河岸浸食(家屋倒壊等氾濫想定区域)
- あか** かけ崩れて建物や命に著しい危害
急傾斜地の崩壊(土砂災害特別警戒区域) レッドゾーン
- きいろ** かけ崩れて命や身体に危害
急傾斜地の崩壊(土砂災害警戒区域) イエローゾーン
- 道路冠水箇所** (平成8年～令和元年度)
- アンダーパス** (通行時注意箇所)

3. 施設周辺が浸水した場合の影響

■ 施設が浸水した場合・・・

- ・ 浸水深2mでも、1階部分は浸水してしまいます。
- ・ 施設が平屋建ての場合、3.0mの浸水で施設は天井付近まで浸かることになります。
- ・ 浸水深が0.5mの場合でも、ほとんど外は歩けなくなるものと考えする必要があります。

0.5m～3.0m の浸水では…



1階軒下まで浸水

ドアが開かない

0.5m 以下の浸水では…



1階床下が浸水

歩行困難

浸水の深さと建物の関係

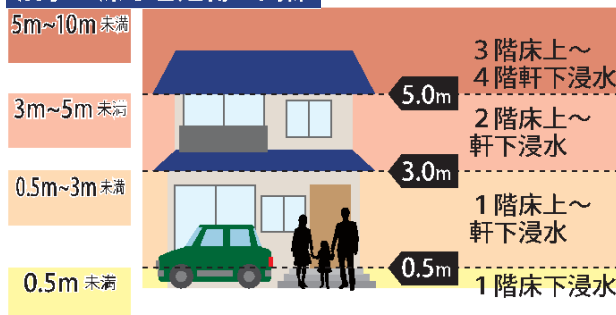
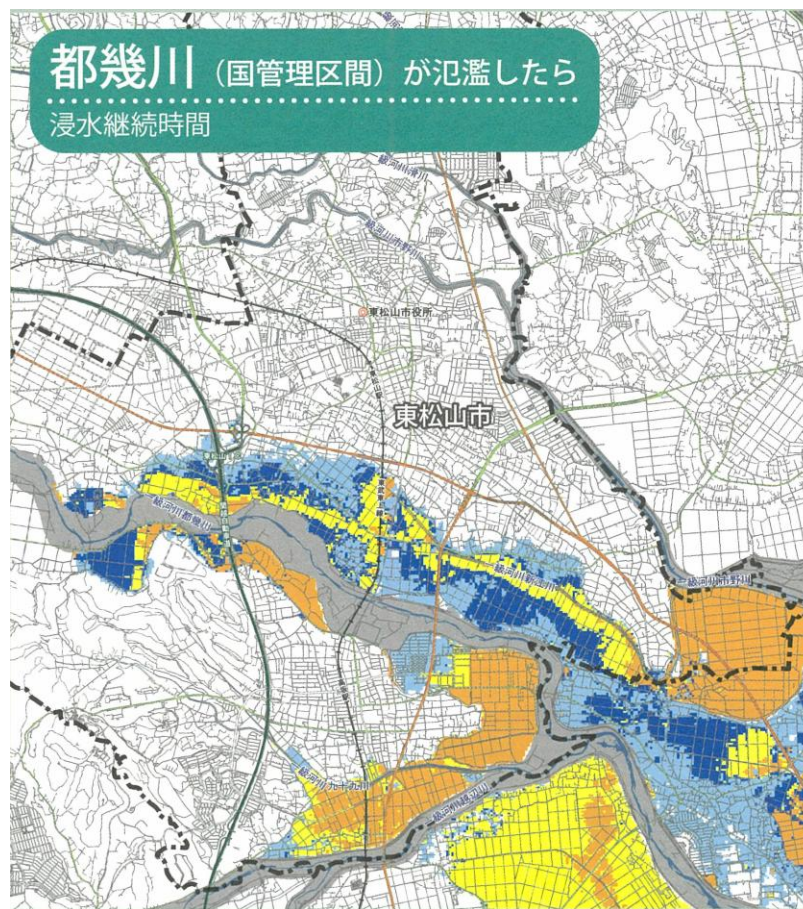
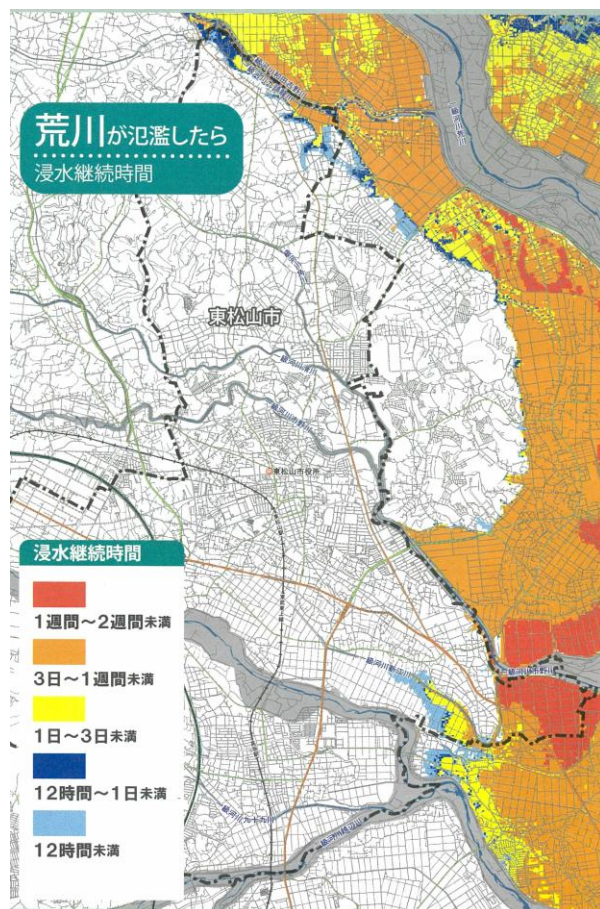


写真)岡山県資料

4. 洪水時に想定される浸水継続時間

■ もし河川が氾濫したら・・・

- 都幾川、越辺川、市野川沿いの広い範囲で浸水し、場所によっては最大約2週間浸水が継続する可能性があります。
- また、浸水状態が続くことで「長期間にわたり孤立する恐れ」があります。



東松山市ハザードマップ
p31～（浸水継続時間）

河川ごとに浸水継続時間
が示されています。

5. 施設周辺の水害リスクを確認する方法@重ねるハザードマップ

- 浸水状況を確認する手段をご紹介します。
- ・ 国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」では、洪水時に想定される浸水深や土砂災害リスクの分布状況をまとめて確認することができます。

ハザードマップポータル

検索

国土交通省ハザードマップポータルサイト
～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方 利用規約 問い合わせ 関連情報

新着情報

「重ねるハザードマップ」を使用します

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力
例：茨城県つくば市北郷1／国土地理院

表示する情報を選ぶ

洪水(想定最大規模)
洪水(計画規模)はこちら

津波

土砂災害

道路防災情報

※掲載データに関する留意事項

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ
都道府県 市区町村

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

①住所を入力（例：東松山市 高坂市民活動センター）

②検索

場所を入力
東松山市 高坂市民活動センター

※地名検索は大字までの対応です

表示する情報

洪水(想定最大規模)
洪水(計画規模)はこちら

津波

土砂災害

道路防災情報

※掲載データに関する留意事項

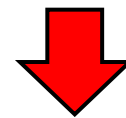
5. 施設周辺の水害リスクを確認する方法@重ねるハザードマップ

■ 施設位置が示されますので、確認して下さい。

① 画面上の操作で移動や拡大・縮小ができます。

② 操作マニュアルは、画面上の「使い方」にあります。

②操作マニュアルがあります



①地図の拡大・縮小ができます（マウスのホイールでも可能です）

5. 施設周辺の水害リスクを確認する方法@重なるハザードマップ

■ 確認したい「リスク情報」を選択します。

重なるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

高坂市民活動センター

使い方 利用規約 ホーム

選択中の情報

災害種別で選択

洪水
(想定最大規模)

土砂災害

津波

道路防災情報

掲載データに関する留意事項

すべての情報から選択

選択情報のリセット

表示中の情報はありません

例) 東松山市 高坂市民活動センター

東松山市

①「洪水」をクリック

選択中の情報

災害種別で選択

洪水
(想定最大規模)

土砂災害

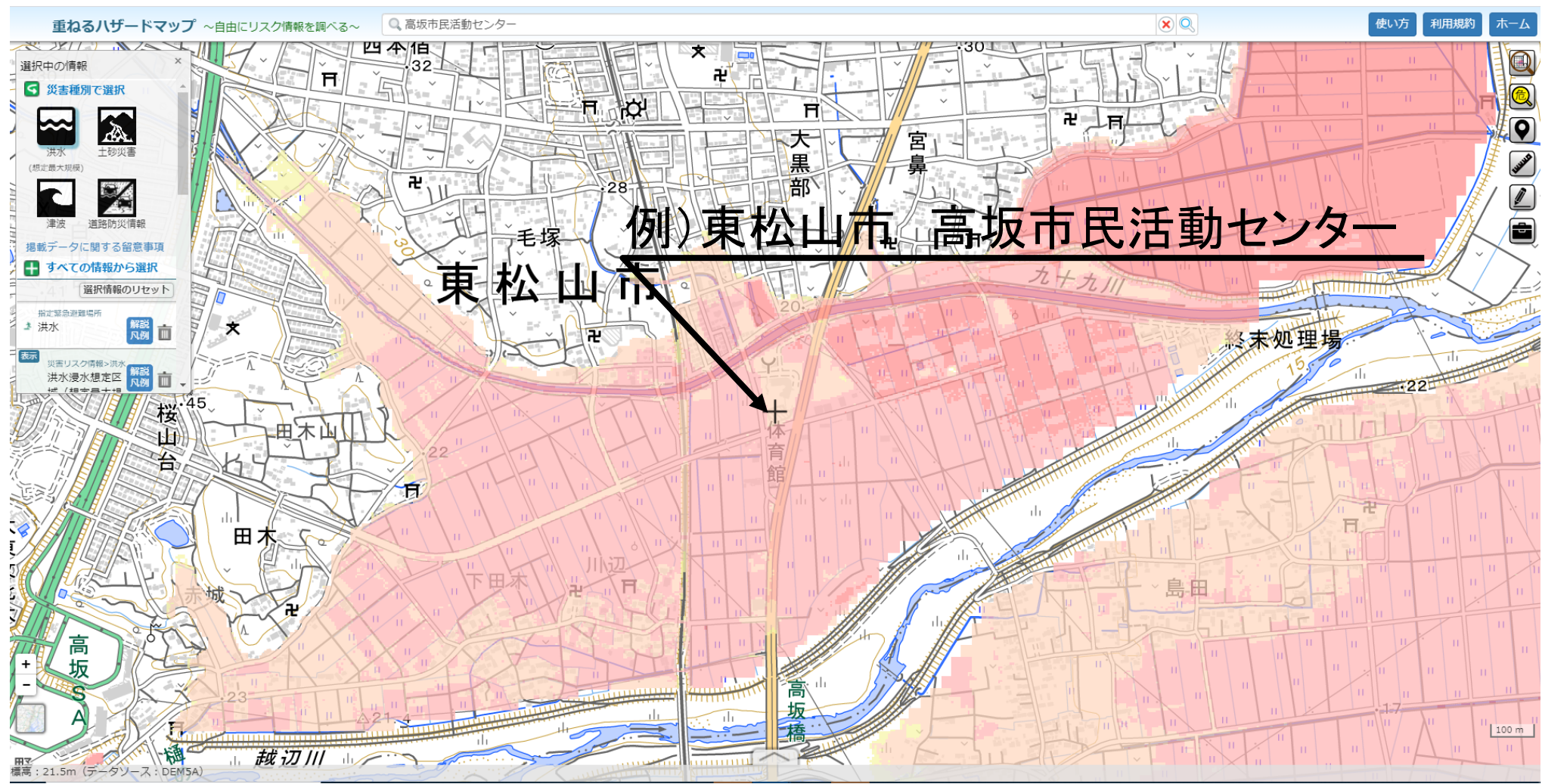
津波

道路防災情報

15

5 . 施設周辺の水害リスクを確認する方法@重なるハザードマップ

■ 洪水時の想定浸水深が表示されます。※市野川の浸水範囲は反映されていません。



5. 施設周辺の水害リスクを確認する方法@重なるハザードマップ

■ 洪水時の想定浸水深が表示されます。

重なるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

高坂市民活動センター

使い方 利用規約 ホーム

選択中の情報

災害種別で選択

- 洪水 (想定最大規模)
- 土砂災害
- 津波
- 道路防災情報

掲載データに関する留意事項

すべての情報から選択

選択情報のリセット

透過率: 20%

洪水浸水想定区域 (想定最大規模)
河川が氾濫した際に浸水が想定される区域と水深

凡例

0.3m未満
0.3~0.5m
0.5~1.0m
1.0~3.0m
3.0~5.0m
5.0~10.0m
10.0~20.0m
20.0m以上

注意点

このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

データの掲載状況一覧
データについて

地図上で自分の施設の位置などをクリックするとその地点の浸水深が表示されます

洪水によって想定される浸水深: 5m~10m

5. 施設周辺の水害リスクを確認する方法@重ねるハザードマップ

■ 洪水と土砂災害のリスク分布を同時に表示することもできます。

選択中の情報

災害種別で選択



洪水
(想定最大規模)



土砂災害



津波



道路防災情報

②「土砂災害」をクリック

地図上で拡大するとより詳細な位置を確認できます。

リバーサイドパ

東松山市

東松山市

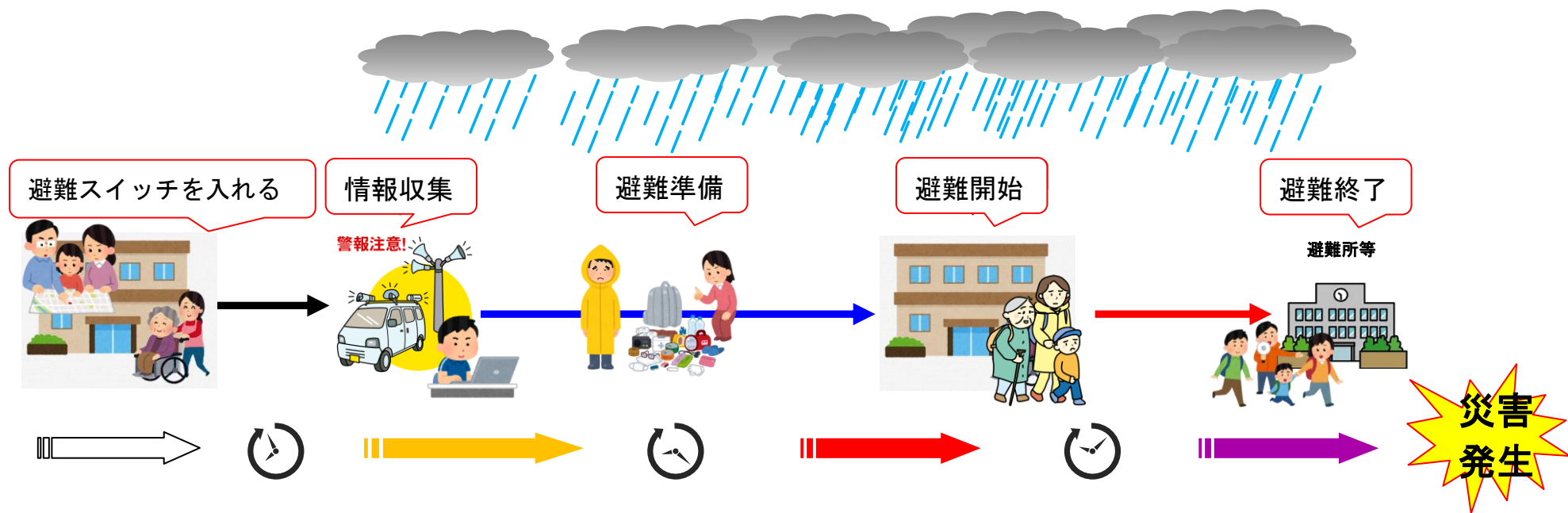
【ステップ3】

避難行動のタイミングと役割分担

避難行動のタイミングと役割分担

■ 洪水の特徴について

- 洪水は地震などの突発的に発生する災害と違い、災害発生までの時間が比較的長く、事前に災害や被害の規模などが想定できる災害です。
- そのため、災害発生時点からさかのぼって、いつ、だれが、何を、どのようにするかをあらかじめ決めておくことで、いざというときに被害を減らすことが可能です。



避難行動のタイミングと役割分担

■ 「いつ」 行動するか . . .

- 東松山市では、市民の皆様が避難行動の目安になるものとして、避難情報を発表します。
- 市が発表する避難情報やその他の情報を参考に、「いつ」行動するかあらかじめ決めておきましょう。



避難行動のタイミングと役割分担

■ 「だれが」「何を」「どのように」するか・・・

- 避難行動を円滑に行うためには、あらかじめ、**役割分担**を決めておくことが重要です。
- 以下を参考に、「だれが」「何を」「どのように」するか決めておきましょう。

対応班（例）

統括管理者
（施設代表者）



【役割】
避難準備～終了
の指揮

情報班



【役割】
避難に必要な情報の収集
と関係者への共有

避難誘導班



【役割】
施設利用者の誘導や
保護者への連絡・引き渡し

活動内容（例）

○ 避難所等の確認

○ 非常食等の準備

○ 職員の参集

○ 防災情報の収集

○ 車椅子・担架の準備

○ 資器材の準備

○ 備蓄品等の移動

○ 車椅子への移動

○ 利用者の着替え

○ 利用者の食事

○ 施設内移動

○ 上層階への移動

○ 移動車両の手配

○ 移動車両への運搬

○ 避難場所までの移動

○ 夜間の移動